

「未来の東京」戦略ビジョン

大胆な未来の展望こそが、時代を切り拓く

「二十世紀の豫言」 ※1901（明治34）年1月2日・3日 報知新聞



1901年1月2日発行



1901年1月3日発行

記事内容の抜粋

<買物便法>

「寫眞電話によりて遠距離にある品物を鑑定し且つ賣買の契約を整へ其品物は地中鐵管の装置によりて瞬時に落手することを得ん」



現代社会の状況

テレビ会議やネットショッピングが普及し、バーチャル世界を通じて、買物が楽しめる社会が実現

今、進行しつつある変化・変革に、正面から向き合う

- ① **経済**：日本経済は存在感が低下、
世界の政治・経済・軍事の枠組みが大きく変化している
- ② **テクノロジー**：**第4次産業革命のうねり**の中で、
日本・東京の対応が問われている
- ③ **気候変動**：**世界的な気候変動の危機**が、
自然災害の頻発など東京の環境や生活に深刻な影響を及ぼす
- ④ **人口構造**：**少子高齢化、人口減少**は、
生産力や都市の活力に大きな影響を与える

4つの基本戦略

基本戦略 1 **バックキャスト**の視点で将来を展望する

基本戦略 2 **民間企業等、多様な主体と協働**して政策を推し進める

基本戦略 3 **デジタルトランスフォーメーション**で
「スマート東京」を実現

基本戦略 4 時代や状況の変化に弾力的に対応 **「アジャイル」**

2040年代の東京の姿 20の「ビジョン」

2030年に向けて取り組む 20の「戦略」

3C (Community、Children、Chōju) を戦略の核に

戦略実行のための約120の 「推進プロジェクト」



3つのシティが進化し、「成長」と「成熟」が両立した未来の東京を実現

2040年代の東京ビジョン

「人が輝く東京」



ビジョン01 子供 (Children)

- 子供の笑顔で一杯のまち
- 子供を産み、育てることが社会全体の喜びに
- 合計特殊出生率が2.07

ビジョン02 教育

- 新たな「東京型教育モデル」が根付く
- 言葉の壁を越えてグローバルに活躍



ビジョン04 長寿 (Chōju)

- 「Chōju」が世界共通語に
- 平均寿命・健康寿命がともに90歳を超える
- 介護離職が死語に

ビジョン07 コミュニティ (Community)

- 様々な人が集い、交わり、悩みを分かち合える「居場所」



ビジョン08 防災

- 東京のまちから電柱が姿を消す

ビジョン10 交通ネットワーク

- 人々が安全かつ自由にまち歩きを楽しむ



ビジョン12 スマート東京

- 都市全体がスマート化
- 完全デジタルガバメントが実現

ビジョン13 ビジネス・研究開発

- 東京都立大学からノーベル賞受賞者

ビジョン14 スタートアップ

- 世界一のスタートアップ都市・東京



ビジョン16 水と緑

- 河川等の清流が復活し、外濠では蛍が舞う



ビジョン17 環境都市

- 都内CO₂排出量は実質ゼロ

ビジョン20 全国連携

- 真の共存共栄の社会



戦略 1 子供の笑顔のための戦略

出産・子育て全力応援プロジェクト など

未来を担う子供を大切に育てる

「チルドレンファースト」
の社会

子供や子育て世代に
優しいまちづくり

安心して子育てが
できる環境

子供が笑顔で
子育てが楽しいと
思える社会

子供の目線に立ったまちづくり・政策を進める

子供の目線に立って、子育て環境の整備、公園や遊び場など子供が過ごしやすいまちづくりを、区市町村と連携して推進



▶ 楽しめる公園



▶ 過ごしやすい住宅



▶ 就学前教育の充実



▶ 働き方環境の整備

産前から学校を巣立つまで、切れ目なく子供や家庭を支える

産前から出産・子育てが終わるまで、子育て世代が直面する課題に寄り添い、切れ目なく支援し、あらゆる負担を徹底的にサポート



▶ 妊娠適齢期等の普及啓発

▶ 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

▶ 保育サービス ▶ 放課後の居場所

チーム2.07による
社会のマインドチェンジ

「子供を大切にする」を最優先とする
社会に向けたマインドチェンジを促進

普及啓発

広報展開

働き方改革

多様な事例の共有



戦略2 子供の「伸びる・育つ」応援戦略

新たな「東京型教育モデル」推進プロジェクト

子供の学び方や教員の教え方を転換する

新たな「東京型教育モデル」に向けて取組を推進

一人ひとりの個性や成長に応じた教育の提供

幼小連携教育プログラム



工業高校等での専門的職業人材の育成



東京都版高大接続改革プログラム



探究的なキャリア教育



幼稚園・保育所等から大学までのデータ蓄積・連携・活用

TOKYOスマート・スクール・プロジェクト

子供たちの力を最大限に伸ばすトータルツールとして、**教育のICT化**を推進

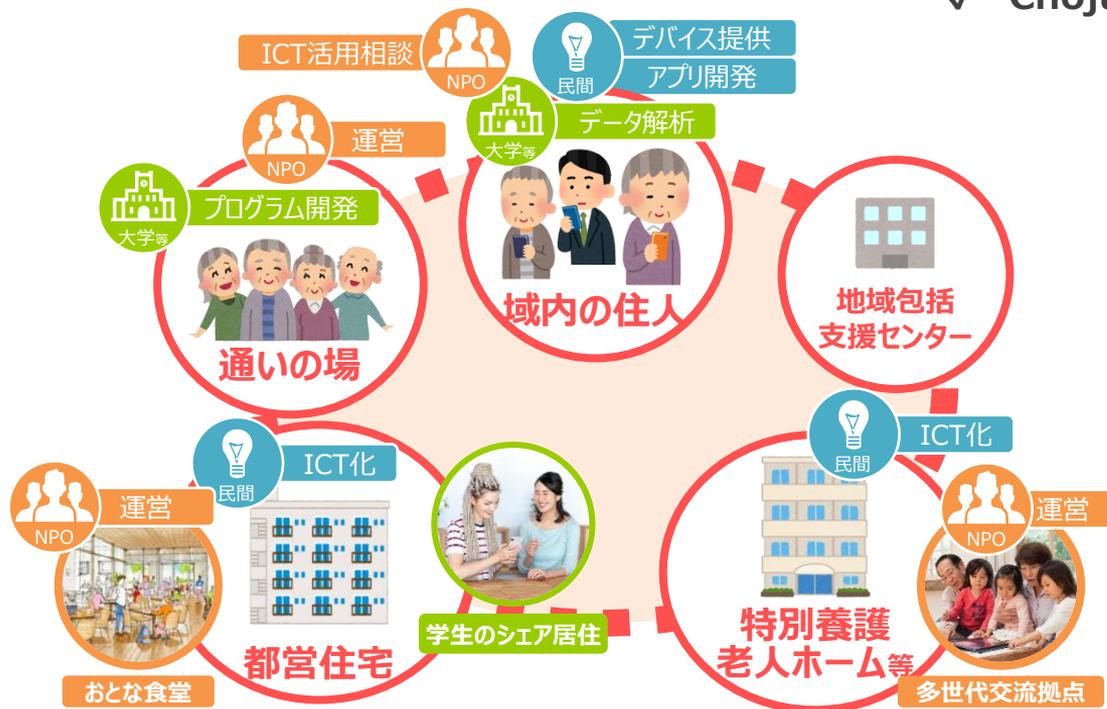
✓ 都立学校における**モバイル端末1人1台**の学習環境の実現 **100%** (2023年)

戦略4 長寿（Chōju）社会実現戦略

自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクトなど

誰もが元気で心豊かに、自分らしく暮らせる地域を実現。区市町村の取組を都が強力に支援

✓ “Chōju”プロジェクトを都内全域に展開（2030年）



東京都立大学プレミアム・カレッジにおける学び



- ✓ 「首都・東京をフィールドに学ぶ」をテーマとした、幅広い独自のカリキュラム
- ✓ 新たな仲間と学びや交流を深める
- ✓ 東京の持つあらゆる資源を活用した多彩なフィールドワーク

戦略7 「住まい」と「地域」を大切にする戦略

「みんなの居場所」創出プロジェクト

様々な人が集い、交わり、悩みを分かち合える「居場所」を地域の至る所に創出

✓ 都内全域に居場所を1,000か所創出（2030年）

✓ 都営住宅等における「おとな食堂（仮称）」創設 100か所（2030年度）



都営住宅の集会所等を活用した
多世代交流拠点（おとな食堂（仮称））等



民間の店舗を活用した地域サロン

住生活充実プロジェクト

人や地域に焦点を当てた、**新たな住宅戦略**を展開

戦略8 安全・安心なまちづくり戦略

水害から命と暮らしを守るハード整備等の推進 / 国等と連携した、広域的な対策の展開

国等と連携した取組を推進

新たな調節池を順次事業化



区分	調節池容量
整備済	12河川28箇所 約256万m ³
既に工事に着手している	5河川7箇所 約110万m ³
新たに事業化を図る	約150万m³
合計 (事業中含む)	約510万m³

整備を加速

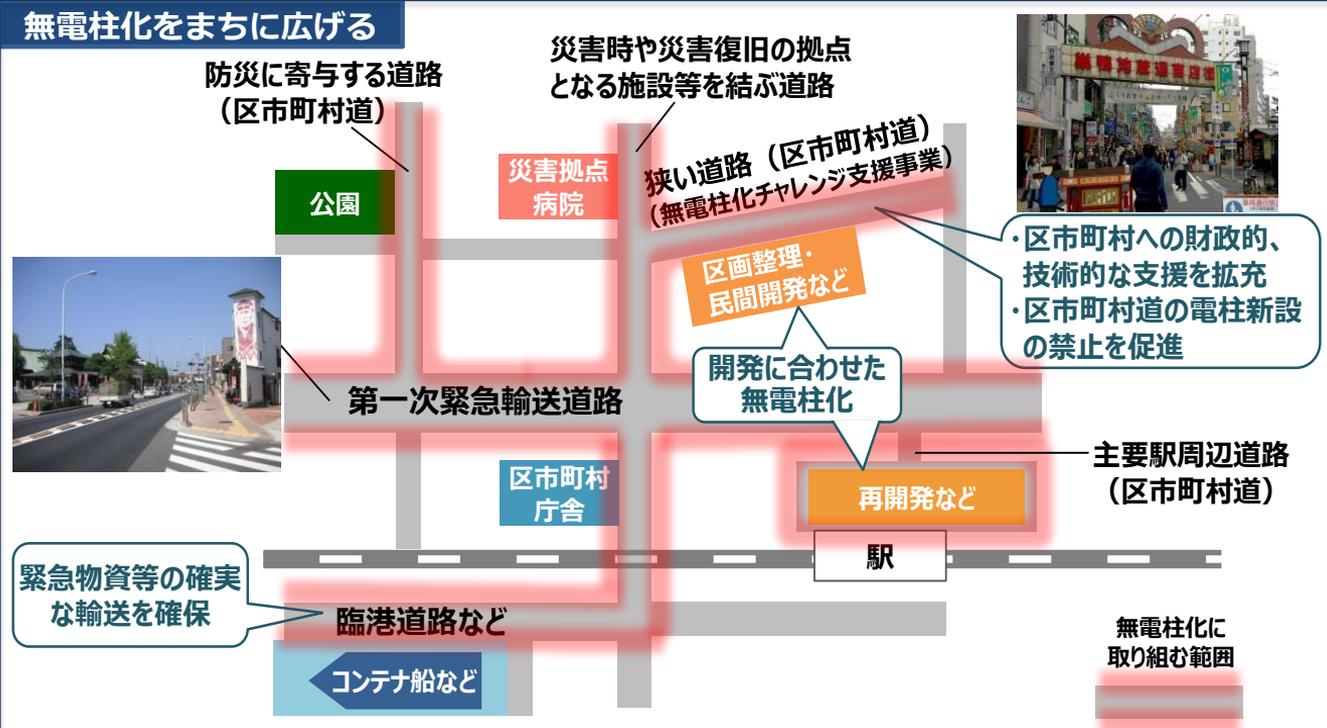
豪雨対策アクションプラン (仮称) を策定

あらゆる施策を展開し、首都直下地震等からの死者・負傷者・避難者・建物被害を最小化する

無電柱化推進プロジェクト

都道等はもとより、区市町村道や民間開発における無電柱化を進め、面的に展開

無電柱化をまちに広げる



長期戦略に合わせ、
新たに
「無電柱化加速化戦略
(仮称)」を策定

戦略10 スマート東京・ TOKYO Data Highway戦略

「電波の道」で、いつでも、誰でも、どこでも「つながる東京」を実現

「スマート東京」先行実施エリア（5Gと先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装）

【想定されるエリア・サービス】 ※西新宿、南大沢はTDH重点整備エリア。その他については具体的なエリアやプロジェクトを検討し、順次実施。

西新宿※



出典：Link NYC
(ニューヨーク市のスマートボール)

- スマートボールの設置
- 公開空地等を活用したxRライブ、プロジェクションマッピング
- スタートアップの集積

都心部



- 人流データを活用した避難・帰宅困難者支援
- オンデマンドモビリティを活用したMaaS

ベイエリア



- 空間的広がりを活かしたデジタルテクノロジーの実装
- 人流データを活用したマーケティング、xRを活用したコンテンツ・ツーリズム
- 試験研究機関等と連携したスタートアップの集積

南大沢（東京都立大学）※



- ローカル5G環境の整備
- 5Gを活用した研究・実証実験
- 大学発ベンチャーの活性化

島しょ地域



- ドローン等を活用した災害対応
- 遠隔診療
- 地理的制約等を超えた教育
- スマート農業、水産業

順次様々なエリアで展開

ホップ

特定エリアで先行的に実施

ステップ

東京都全域で展開

ジャンプ

全国へ展開（共存共栄）

TOKYO Data Highwayを活用した先端技術で都民のQOLをアップデート

戦略17 多摩・島しょ振興戦略

「多摩イノベーションパーク（仮称）構想」

中小企業等の集積と、先端産業やスタートアップとの融合で、世界有数のイノベーション先進エリアへ



中小企業	大企業	先端企業	スタートアップ
大学	ものづくり企業	精密機器企業	外国企業
専門人材	研究機関		



「GLOBAL Student」プロジェクト

体験型英語学習施設である

TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)

の特長を備えた環境を**多摩地域でも展開**

⇒ 世界に羽ばたきグローバルに活躍する
人材を育成

海外にいるかのような非日常的な空間で英語を学習

英語学習と同時に様々な分野の知識・思考を深める

T TOKYO
GLOBAL
GATEWAY



多摩・島しょ地域観光振興プロジェクト

多摩・島しょの**地域特性を活かした観光振興**

・島しょ地域における**上質な宿泊施設の誘致・整備**
を支援

世界自然遺産を活用した観光プロモーション



戦略18 オールジャパン連携戦略

オールジャパン連携プロジェクト

距離を越えた連携で、日本全体の成長につなげる

連携1：様々な連携の形を通じて、全国各地との強固な信頼関係を構築し、共に成長する

複数自治体との連携を通じた全国共通課題の解決

国産木材活用プロジェクト



メガイベント成功や都市力強化等を目指す大都市間の連携

東京・大阪連携会議
～東京2020 to 2025大阪～



特定のテーマに基づく都市間ネットワークの構築

女性首長による
びじょんネットワーク



世界自然遺産を活用した観光プロモーション

世界自然遺産の魅力を
他自治体とともに発信



連携を深化させ、
東京と全国各地とが共に成長

全国各地のニーズを把握し、ニーズに即した具体的な連携に結び付けるため、地方連携の専管ポストを中心に、都庁全体で全国各地からの提案や要望を分析し、取組を推進していく

連携2：持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組を共に推進する

連携3：災害時の応援や被災地の復興に向けた支援を積極的に行う

連携4：これまでにない幅広く多様な交流を促進する

戦略20

新たな都政改革戦略

新たな都政改革ビジョンの策定

- 「新たな都政改革」で、**東京の明るい未来を支える都庁へと一段の飛躍**
- 2020改革を更に発展させ、改革を次のステージへ

都庁の永遠のミッション

安全・安心、健康、快適…
都民の“幸せ”の実現



- ✓ **CS**（都民の満足）と **ES**（職員の働きがい）の相乗的な向上を追求
- ✓ 現在の法律・制度にとらわれない抜本的な改革

新たな都政改革の方向性

役割・仕事が変わる

民間とのスクラムで政策イノベーションを生み出す都庁へ

- ▶ 民間の発想・技術・知見を融合させた行政運営
- ▶ 民間とフラットな関係でパートナーとなり、東京の成長を目指す。

制度・仕組みが変わる

3つのアプローチで、未来の東京を支える都庁へ

人材マネジメント

高い専門性と
コミュニケーション
能力を備えた人材を
育成

組織運営

ICT環境の刷新や
人事・財務・契約
などの制度を改革

行政サービス

「都庁のデジタル
シフト」などを通じ、
利便性・有用性・
効率性を追求

新たな都政改革の進め方・今後の予定

改革の進め方

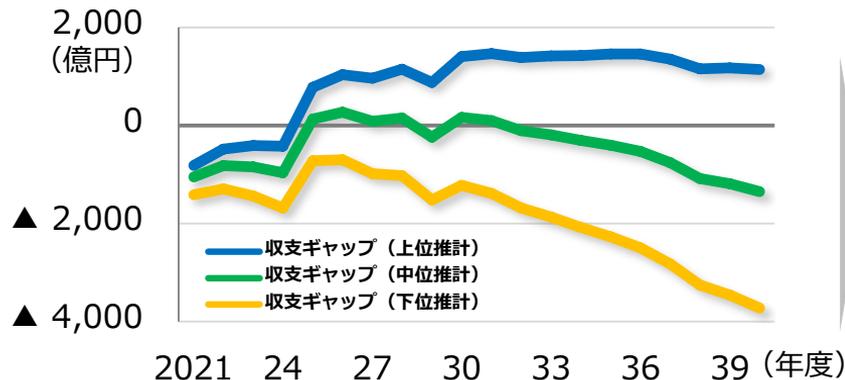
- ▶ 環境・ニーズの変化に弾力的に対応：**アジャイル**
- ▶ ユーザー目線を徹底：**デザイン思考**

今後の予定

本ビジョンを踏まえ、2020年度早期に、**実行方針（第1弾）**として、改革の具体策をとりまとめ

東京都の財政収支の長期推計

- 目的：中長期的な財政見通しを基に、計画的かつ戦略的な財政運営を行う
未来の東京に向けた政策の実行について財政面からの考察を行う
- 推計結果：中位推計でも2030年代には収支ギャップのマイナスが拡大
→ 「未来への投資」により、成長が財源を生み、更なる政策へと繋がる
好循環を生み出していくことが重要



- 中長期的な視点による、計画的かつ戦略的な財政運営
- 「未来の東京」戦略ビジョンで描く新たな政策の実行

更に強固で弾力的な財政基盤の構築へ

※ 法人関連税収については、景気変動に伴う短期的な振れを調整した上で推計を行うため、平成17年度以降の平均税収額を推計の起点として設定

みんなでつくる「未来の東京」

- 戦略ビジョンに掲げた様々な推進プロジェクトの展開に当たっては、
都民に最も身近な区市町村と緊密に連携しながら
取組を進めていく
- 国や首都圏の自治体、大学、民間企業など、**様々な主体と連携する**
- 戦略ビジョンで立ち上げたプロジェクトを推進する中で、政策を練り上げ、
東京2020大会のレガシーを反映し、長期戦略の策定に
つなげる